

横浜市新型コロナウイルス対策本部会議 議事要旨	
日 時	令和2年11月24日(火) 16時00分～17時00分
開催場所	市庁舎10階 危機管理センター本部会議室
出席者	<p>【正副本部長】 市長、平原副市長、小林副市長、城副市長、危機管理監</p> <p>【局・統括本部】 温暖化対策統括本部長、政策局長、総務局長(代理:しごと改革室長)、財政局長、国際局長、市民局長、文化観光局長、経済局長、こども青少年局長、健康福祉局長、医療局長、医療局病院経営本部長、環境創造局長、資源循環局長、建築局長(代理:副局長)、都市整備局長(代理:副局長)、道路局長、港湾局長(代理:副局長)、消防局長、会計室長、水道局長、交通局長、教育長、選挙管理委員会事務局長、人事委員会事務局長、監査事務局長、議会局長、</p> <p>【区】 鶴見区長、南区長、瀬谷区長</p> <p>【その他】 危機管理室長、政策局政策調整担当理事、保健所長</p>
開催形態	マスコミ公開
議 事	<p>開 会</p> <p>1 市内の状況について(報告)</p> <p>(1) 感染発生等の状況と対応(健康福祉局) 資料1に沿って説明【健康福祉局長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の感染状況は、いわゆる「第1波」「第2波」に比べて急激に増加していることに加え、感染経路不明の感染者が増加している。 ・医療提供体制については、65歳以上の軽症者が入院対象となっている状況もあり、軽症者の入院も含め、現状では高い数値となっている。 ・PCR検査の実施については、市内病院やクリニック等で検査する体制となったことから、検査件数が増加している。 ・市内のクラスター発生状況は、いわゆる「夜の街」の飲食店での感染者の発生は比較的少なく、どちらかというと、高齢・障害者施設における発生が多い。 ・Y-AEITの活動は、立入調査、原因究明、注意喚起を含め、多岐に及んでいる。 <p>(2) 医療提供体制の状況と対応(医療局) 資料2に沿って説明【医療局長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染者総数は、10月末から急増している。 ・高齢者の感染者が増加すると、重症者数が増加する傾向にある。 ・10月末から重症者数が増え、人工呼吸器使用数が増加している。 ・インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行(いわゆる「ツインデミック」)が危惧されているが、既にインフルエンザの流行期を迎えているが、本年度は、県内だけでなく全国的にインフルエンザはほとんど発生していない状況である。今後も、発生状況を調査していく。 ・いわゆる「第1波」「第2波」では、患者自身が病院受診を抑制していたこともあり、病院受診する患者はある程度落ち着いていた。しかし、冬季になると、病院受診する患者が増加し、通常診療、救急患者、新型コロナウイルス感染者を同時に受け入れていかなければならないため、引き続き、Y-CERT及び県と調整していく。

- ・更なる病床確保のため、今後も引き続き、主要病院長と情報交換していきたい。また、中小病院に対しては、新型コロナウイルス感染者を診療していただけるよう病院協会を通じて依頼しているほか、軽症者・無症状者は、なるべく宿泊療養施設を利用していただくなど、医療資源を圧迫しないよう検討しているところである。

《確認事項》

- ・現在、インフルエンザが落ち着いている原因は何か。【本部長】
 - ➡ 3密防止、手洗いなど、感染防止対策が徹底されていることも原因の一つであると考えられる。【医療局長】

(3) 経済の状況と対応(経済局)

資料3に沿って説明【経済局長】

- ・『中小企業の「新しい生活様式」対応支援事業補助金』への対応では、業務多忙で補助金を申請する余裕がない事業者もいると考えられたため、申請されない事業者に対して電話等で確認したところ、多くの事業者が今後申請予定とのことである。

(4) 観光 MICE の状況と対応(文化観光局)

資料4に沿って説明【文化観光局長】

- ・市内主要ホテルの稼働率は、回復傾向にはあるものの、例年に比べると、まだまだ厳しい状況が続いている。
- ・「YOKOHAMA CROSS NIGHT ILLUMINATION ヨルノヨ」は、新型コロナウイルス感染症対策を万全に講じて開催している。
- ・主要文化施設の利用状況は、回復傾向にあるが、前年度レベルまで戻っていない。

《確認事項》

「ヨルノヨ」は、私も視察したが、感染防止対策をしっかりと実施して開催していた。ただ、開催期間が11月20日から12月26日までと長いため、気が緩まないように最後までしっかりと感染防止対策を講じること。【本部長】

(5) 区の状況

鶴見区の状況【鶴見区長】

- ・鶴見区は、市内で新型コロナウイルス感染者数が一番多く発生している。また、直近6週間で、165人もの感染者が確認されており、検査調整、入院調整、療養型宿泊施設の調整も急増している。
- ・感染者の急増を受け、職員を増員して対応しており、平日の対応はもとより、土曜日・日曜日・祝日（年末年始含む）にもしっかりと対応できる体制としている。
- ・今後、町内会長と相談し、町内の掲示板に感染症対策のチラシを掲示することを予定している。

南区の状況【南区長】

- ・「横浜橋通り商店街」「弘明寺商店街」では、人通りが戻り、遠方からも来ているそうだ。それぞれ、プレミアム商品券、買い物スタンプラリー、来月には歳末売り出しを予定している。
- ・区としても、区内8商店街がそれぞれデザインしたエコバックを作成し、集客に役立ててもらっている。
- ・感染者の急増によりセンター長や保健師をはじめ職員は連日、対応に追われている。感染者が出た施設に対しては、引き続き各所管局と連携していきたい。

	<p>瀬谷区の状況【瀬谷区長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内の感染状況は落ち着いているが、予断を許さない状況である。 ・地域活動については、中規模以下の行事・イベントは、マスク着用や、3密回避など、感染防止対策を万全に講じたうえで開催しているが、大規模な防災訓練、区民祭り等は中止している状況である。 ・市民局の補正事業なども活用しつつ、地域の ICT 化が徐々に進んでいる。 <p>《確認事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染者が急増している中で、感染者の対応に奔走する職員の疲弊が心配であり、しっかりと支えていかなければならない。所管副市長を中心に対応すること。 【本部長】 <p>(6) 国及び県の動向を踏まえた本市の対応(本部運営調整チーム) 資料5に沿って説明【本部運営調整チーム長(危機管理室長)】</p> <p>2 暮らし・経済対策について(暮らし・経済対策チーム) 資料2に沿って説明【暮らし・経済対策チーム長(政策局長)】</p> <p>《確認事項》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の「暮らし・経済対策」は、横浜市として、今取り組まなければならない施策を盛り込んでいるが、一方で、感染状況の変化にも迅速に対応する必要がある。現在の国や県のG o - T oの動きはどうか。【小林副市長】 ➡札幌市と大阪市は、G o - T oトラベルから除外する(期間は3週間程度)と聞いている。また、G o - T oトラベルについては、全国知事会から国に対して、「都道府県単位ではなく、地域限定の対応としてほしい」と緊急提言している。 【危機管理室長】 ・今回の「暮らし・経済対策」には、横浜の旅行への助成を挙げているが、G o - T oキャンペーンの見直しを踏まえた事業の考えを所管局から補足してほしい。【本部長】 ➡もし神奈川県がG o - T oトラベルからの除外対象となれば、事業の一時中止など踏まえ、柔軟に対応していく。【文化観光局長】 <p>3 本部長指示 別紙のとおり</p> <p>閉 会</p>
<p>資 料 ・ 特記事項</p>	<p>1 資 料 市内の状況等について(報告)</p> <p>資料1 感染発生等の状況と対応【健康福祉局】</p> <p>資料2 医療提供体制の状況と対応【医療局】</p> <p>資料3 経済の状況と対応【経済局】</p> <p>資料4 観光M I C Eの状況と対応【文化観光局】</p> <p>資料5 国及び県の動向を踏まえた本市の対応【本部運営調整チーム】</p> <p>《暮らし・経済対策について》</p> <p>資料6 暮らし・経済対策について【暮らし・経済対策チーム】</p> <p>2 特記事項 なし</p>

全国的に感染の「第3波」が発生し、横浜市内でも、厳しい状況となっています。

医療従事者の皆様は、2月以降、長期にわたり最前線に対応してくださっています。

改めて感謝申し上げます。

横浜市は、医療崩壊を絶対に招かないよう、神奈川県と協力し、日常の地域医療と両立させ、陽性患者の方、特に重症の方への医療提供体制の充実に努めていきます。

このたび横浜市は、感染拡大防止と経済再生の実現を両輪に、さらなる対策を進めるため、第4弾の「暮らし・経済対策」として、総額約31億円の補正予算案を編成しました。今まさに必要な対策を盛り込み、市民の皆様の命と暮らしをしっかりとお守りしていきます。

各本部員は、リーダーシップを発揮し、迅速に対策事業を進めてください。

現在の感染拡大を一刻も早く落ち着かせるために、市民、事業者の皆様、各区局が所管する施設や関係する団体・業界等の皆様に向けて、改めて感染拡大防止策を呼び掛けていく必要があります。あらゆる機会やツールを用いて、速やかに広報してください。

また、市民の皆様のために、日々、全力で新型コロナウイルス対策にあたっている職員へのサポートもお願いします。

横浜市役所一丸となって、この難局に立ち向かっていきたいと思えます。

そして改めて、市民の皆様には、次の点をお願いいたします。

マスクの着用、3密回避、室内の換気など、基本的な感染防止対策をしっかりとお願いします。

集まる場合は、少人数・短時間で、大声は控え、会話はできるだけ静かにお願いいたします。

また、事業者の皆様は、業種別ガイドラインを参考に、感染防止対策を現場で確実に実践していただくよう、お願いいたします。

爆発的な感染拡大を抑えるためには、市民の皆様、事業者の皆様、お一人おひとりのお力が欠かせません。ご一緒に、この状況を乗り越えてまいりたいと思えます。どうぞよろしく願い申し上げます。